

ペースメーカー電池交換術を受けられる方へ 7日間

患者氏名：

経過 (日付)	入院前 (外来)	手術当日		2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目【退院予定日】	退院後 初回受診時
		手術前	手術後							
		月 日	月 日							
到達目標	入院の目的が理解できる。	急激な血圧・心拍の変動がない。 手術について理解できる。 植え込み部分の皮膚の清潔保持ができる。	血圧や脈拍が安定している。 術後離床ができる。	血圧や脈拍が安定している 術後合併症がない。 熱発(38.0度以上)がない。疼痛 時報告でき鎮痛できる。傷口に 異常がない。 病棟内歩行ができる。 ペースメーカーパンフレットを読む ことができる。 自己検脈ができる。	 ペースメーカーパンフレットを 読み注意点が理解できる。	熱発(38.0度以上)がない。 傷口の発赤・熱感がない。 疼痛がない。 ペースメーカーパンフレットを 読み注意点が理解できる。	熱発(38.0度以上)がない。 傷口の発赤・熱感がない。 ペースメーカーパンフレットを 読み注意点が理解できる。	熱発(38.0度以上)がない。 傷口の発赤・熱感がない。 ペースメーカーパンフレットを 読み注意点が理解できる。	【退院の目処】 熱発(38.0度以上)がない。	 ☆☆退院後の受診後日までに異常を感じましたら受診日をお伝えいただきます。☆ 退院日の退院後初回外来受診日をお伝えいただきます。
治療・処置	お薬を飲まれている方はお薬手帳を確認させてもらいます。 医師より中止を言われた薬は内服しないでください。※必要な方のみ	心電図モニターをつけます。 治療の順番になりましたら点滴を開始し、抗生剤の点滴を行います。 植え込み側の反対の側の橈骨動脈部に、手術の1時間前にリドカインテープを貼る場合があります。	手術後、出血や血腫を防ぐため創部の上から圧迫バンドを装着します。 持続点滴は歩行可能となれば終了します。	医師が、創部の状態を見て圧迫バンドを外します。						
検査		採血検査があります。	レントゲン検査があります。  		採血・心電図検査・があります。 			採血・心電図検査があります。		
安静		院内歩行できます。	室内を歩行できます。 	病棟内を歩行できます。		ペースメーカーチェック(検査技師がペースメーカーの作動状況をチェックします)で問題なければ院内を歩行できます。				
食事		心臓病食(1600kcal、塩分6g)がです。 糖尿病、腎臓病で制限食を食べられている方はお申し出ください。 ★植え込み型除細動器、両室ペースメーカーの方は、午前中に治療する場合は朝絶食、午後からの場合は昼絶食になります。	術後より、食事・水分摂取できます。  							
排泄		室内トイレをお使いください。 	室内トイレをお使いください。							
清潔		左脇部～前胸部の除毛を行います。 石鹸清拭を行います。  		看護師で体を拭き、病衣交換を行います。 				医師の許可がでたらシャワー浴ができます。看護師よりお伝えします。 		
説明	・主治医の診察があります。 ・看護師から説明があります。 ・入院担当事務から入院手続きに関する説明があります。	看護師より記入して頂く書類について説明します。 手術と入院中の日程について説明します。  	車いすで手術室まで行きます。術後は、病室に戻ります。 	看護師よりペースメーカーのパンフレットを用いて説明させていただきます。 ご不明な点がございましたらお尋ねください。  						

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。
※病状等に変化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。